



を行なった後は、それぞれ参加するフィールドワーク会場へ

「現場を歩いて初めてわかった!」 課題に向き合うナマの息吹を体感!

第1フィールドワークでは、旧西和良小学校とその周辺の地域資源を、エスコーターのみなさんの案内で視察見学しました。

参加者は集めた情報を元に、2日目の分科会3つのグループに分かれて「農産物アロマ」をつくらしました。この取り組みを通して、一別々のプランが上通って多角的に地域の活性化を

分りかいてきました。



地域をおこすために 仕掛けてきたこと

第2フィールドワークは「和良おこし協議会」が地域の活性化のためにどんなことを仕掛けてきたか、その現場を歩いて体

た。何もないと思われていること

が、伝えた。体験の仕方とどんなに「魅力」になるのだと実感しました! 等身大で取り組んでみる感じがとても心地よく、見習いたいと思います」と、たいへん好評でした。



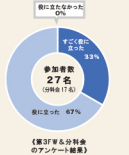
感じた。「実際の場所、経路もついて見聞できたことと新鮮で勉強になった」と説明。案内がわかりやすく集落の奥深くまで行ったので、こういふ方が地域の財産だと感じました。また、ナマの息吹を感じて参加者に大きな刺激を与えてくれました。

また、2日目の分科会では、どのような仕組みをかかえスコーターの加藤さんからじっくり聞いた参加者から「地方でも地域活性化をやる場がありました。次の人は悩んでいたのが面白く一人の話は大変参考になりました」

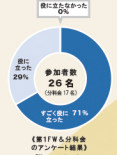
第3フィールドワークは、

民泊の実際の 姿に触れた

た1とのご意見をいただきました。体験しようと思っても機会がないのではないかだったので、実際に体験してみました。3つのグループに分かれて西和良の民泊のお家へ行き、実際にどんなふうにお家の中で過ごしているのかを伺ったり、外では釣り体験や鍾乳洞体験など、子どもたちと同じことをさせてください。参加者も大満足でした。



【第1フィールドワーク】のアンケート結果



【第2フィールドワーク】のアンケート結果

笑いあり怒声あり(?) 基調講演

街に衣着せぬ野路真雄先生(熊本大学名誉教授)の基調講演は、自己紹介と子どもと脱履を繰り返して、事務局のタイムキーパーも倒閉不能になる前代未聞のオピーニングでした。

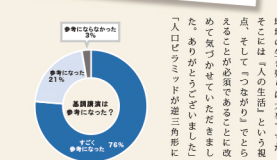
しかし、結果はちゃんと心に届く素晴らしい内容と、アンケートでは今までの基調講演の中でもトップクラスの76%の「すばらしい参考になった」を叩き出しました。



基調講演



第3フィールドワーク



なっている現状について、ゆくゆくは適度な形に落ち着くという予測や、ヨーロッパの国々やニュージーランドが少ないうちでも成り立っている現状なども踏まえ、時の女人口減や女子高齢化に合わせた将来展望を聞くことも大切だと思います。また、参加者が実際に感動に満ちた新しい発見をしたら幸いです。

を伺って大交流会を開催する予定です。毎年大人数の交流会です。今年度は日本の「和良おこし」が良ければとあって、いつも以上に参加率が上がりましたが、すくなく光り切りました。「和良おこし」をあらかじめ大々のため確保したいので、ご予約50本を大幅にこえ



を大幅にこえ